

平成 29 年 6 月 12 日

各 位

会社名 日東製網株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林 宏明
(コード番号 3524 東証第1部)
問合せ先 取締役総務部長 北方 浩樹
(TEL084-953-1234)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 6 月 10 日に公表しました平成 29 年 4 月期(平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)の通期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 4 月期通期連結業績予想値と実績値の差異(平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,300	1,200	950	600	231.29
実績(B)	17,948	816	758	557	215.08
増減額(B-A)	648	△383	△191	△42	
増減率(%)	3.7	△31.9	△20.2	△7.0	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 4 月期)	16,504	1,155	909	594	229.01

(注)平成 28 年 11 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

売上高は、漁業関連事業・陸上関連事業ともに好調で、前期と比べて大幅に増加しました。陸上関連事業は施工工事や安全ネット等の産業用資材の売上高の増加がそのまま利益面にも反映し、前期と比べ大幅な改善となりました。

一方、漁業関連事業は、当社主力の定置網、旋網とも好調で売上高の増加に貢献しましたが、費用面では年数の経過した在庫の評価方法を見直したことにより、製造原価が増加したこと、一部漁業者に急潮被害がでたことから、貸倒引当金の繰入額を増加させたことなどにより一般管理費が増加し、収益が低下しました。

また、同事業の海外子会社では、タイニットウ・セイモウ・グローバルは操業から 5 年経過し、償却負担が減少し、事業収益が改善しましたが、前期業績が過去最高となったレデス・ニッター・チリが、ペルー沖で発生したエルニーニョ現象の影響で前期と比べて大幅な減益となりました。

以上、当初予想しなかった一時的な費用が増加したことなどで営業利益以下の利益が予想を下回る結果となりました。

以上